日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRSj NEWS

PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN

2011 年 10 月

NO. 223

TOPICS

「古くて新しいこと ……」
(社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 武井 良仁
MESSAGE P3

「広報PRアカデミー2011
マネジメントコースを 11 月より開講」
ATTENTION P4

「広報・マスコミハンドブック
(PR手帳)2012 を刊行」
ATTENTION P6

「2011 年度PRアワードグランプリ
10 月 31 日が締め切り(必着)です!」
ATTENTION P7

社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー5F
電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147
URL http://www.prsj.or.jp/

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人:森 健

10月号　目次

10月～11月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「古くて新しいこと ……」	3
ATTENTION(お知らせ)	「広報PRアカデミー2011 マネジメントコースを11月より開講」	4
〃	「広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2012を刊行」	6
〃	「2011年度PRｱﾜｰﾄﾞｸﾞﾗﾝﾌﾟﾘ ｴﾝﾄﾘｰ募集中！ 締め切りは10月31日」	7
BULLETIN(活動報告)	「広報担当者のためのソーシャル・メディア実践講座開催報告」	8
〃	「第9回PRプランナー資格検定試験 1次試験を8月28日実施」	10
PRTREND(PRトレンド国内)	「ADK「ポスト震災ライフ」レポートを発表」	12
〃	「ELトレンド指数で見る2011年8月度キーワード・ランキング」	13
PRTREND(PRトレンド関西)	「関西の風：お国自慢こそ、その街の広報大使！」	14
BOOK(書評)		15
PLAZA(会員便り)	「日本医学ジャーナリスト協会が医療ジャーナリスト講座の受講者を募集」	16
〃	「NRI未来創発フォーラム2011～つなぐ想い、つくる未来～を開催」	17
協会掲載記事	「PRSJ in Media」	18
表4		

10月～11月スケジュール

広報PRアカデミー2011
「スキルアップコース」

●プレスリリースの作成/ヒットするニュースリリースはこう書け！	日　時	：	10 月 5 日(水)　13:30～17:30
	講　師	：	㈱ミラ･ソル　代表取締役　田代　　順氏
	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
●実践メディアリレーションズ/取材対応と仕掛け	日　時	：	10 月 12 日(水)　13:30～17:30
	講　師	：	㈱ハーバーコミュニケーションズ　代表取締役　五十嵐　寛氏
	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
●緊急時対応/模擬記者会見	日　時	：	10 月 19 日(水)　13:30～17:30
	講　師	：	井澤リスクマネジメント事務所　所長　井澤　幹夫氏
	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
第 135 回定例研究会	日　時	：	10 月 25 日(火)　12:00～
	会　場	：	日本外国特派員協会(FCCJ)
	講　師	：	日経BP社「日経ビジネス」編集長　山川　龍雄氏
第 40 回親睦ゴルフ会	日　時	：	10 月 26 日(水)
	会　場	：	総武カントリークラブ　総武コース

広報PRアカデミー2011
「マネジメントコース」

●科目1	日　時		11 月 2 日(水) 18:30～21:00･8 日(火)　　19:00～21:00
「広報･PRマネージャーの役割と心構え①②」	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
	講　師	：	㈱野村総合研究所　総務部長　柴山　慎一氏
●科目 2	日　時	：	11 月 16 日(水)･24 日(木)　19:00～21:00(両日とも)
「広報･PR戦略マネジメント①②」	会　場	：	六本木アカデミーヒルズ 49
	講　師	：	富士ソフト㈱　企画部　コーポレートコミュニケーション室長 井上　喜久栄氏

10月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 12 日（水）　12：00～14：00 六本木ヒルズクラブ
組織委員会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 20 日（木）　12：00～14：00 協会会議室
国際委員会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 18 日（火）　12：00～14：00 協会会議室
教育委員会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 6 日（木）　12：00～14：00 協会会議室
広報委員会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 25 日（火）　15：00～ 協会会議室
出版委員会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 19 日（火）　17：00～ 協会会議室
顕彰委員会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 19 日（水）　12：00～14：00 協会会議室
資格制度委員会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 27 日（木）　12：00～ 協会会議室
企業部会幹事会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 6 日（木）　16：30～ 協会会議室
ＰＲ業部会幹事会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 20 日（木）　16：30～ ㈱電通パブリックリレーションズ　会議室
ＩＴ委員会（10 月度）	日　時　： 場　所　：	10 月 7 日(金)　12：00～ 協会会議室

古くて新しいこと……

(社)日本パブリックリレーションズ協会
理事　武井 良仁

この５月より新たに理事に就任しました。協会ならびに皆様の発展に少しでも寄与できるよう微力ですが、協会業務に励んでまいります。よろしくお願い申し上げます。

さて、私が広報を担当するようになりまして約４年と短い期間ですが、この間も世の中は大きく変動しています。

経済面では、新興国の急速な成長と対照的に起こった先進国でのリーマンショック、昨今の欧州危機など、情勢の激変は現在進行形であり、その影響が政治・経済の各方面に現出しています。

３月 11 日に発生した東日本大震災に関しては、被災者の方々への直接的影響に止まらず、日本という国全体への間接的（精神的）負担も大きく、かつ重くのしかかっています。一方ではこれらに対処する過程で、人々が『結束力』『絆』を確かめ合うような価値観を優先する場面を数多く見かけるようになりました。例えば、個人単位でボランティアとして復旧活動に赴く方々が非常に増えたこともひとつですし、企業の対応としても、従前から行っていた金銭的支援に加え、被災地に継続的な人的支援を実施する行動が出始めたことは特筆すべきことと思います。

従来から繰り返し言われてきたことですが、企業が一市民として、地域コミュニティとの関係が根本から変化しつつあることを客観的に認識することが、あらためて肝要となっています。企業の枠だけにとどまらず、広く開かれた形で地域との連携づくりが求められており、企業の社会的責任を果たす一つの大きな要素であることを強く意識する必要があると考えます。

同様に世の中が企業をフォーカスする視点＝企業ＰＲ・広報に対する見方も大きく変わろうとしています。特に危機管理広報については顕著です。スピードが求められると同時に、企業側の論理だけではなく、また、マスコミへの対症療法的な対応ではなく、その向こう側のお客様をはじめ利害関係者へ向けた、分かりやく、かつニュートラルな説明責任が求められています。

広報マンとして、ＰＲ・広報面での‘ぶれない軸’を構築し、裏方に徹しながら‘等身大’の企業を発信していくことが重要であると常々考える次第です。

「古くて新しいこと」として、歴史も含めて先人に学ぶべきところは学び、変化に対応しながら新しい空気＝風を吹き込み、『未来志向』で前進していくことが、自戒を込めて必要なのではないでしょうか？

ATTENTION

広報PRアカデミー2011
「マネジメントコース」を 11 月より開講
--- 受講申込みを協会Webで受付中 ---

協会では、来たる 11 月 2 日より来年 3 月にかけて 12 回にわたり「広報ＰＲアカデミー2011　マネジメントコース」（8 科目全 12 講座）を開講いたします。

「マネジメントコース」は、広報・ＰＲ業務のマネジメントに必要な考え方や高度な知識、実務スキルを 5 か月間にわたって体系的に学ぶ研修講座です。主な対象は、5 年以上の広報・ＰＲの実務経験を持っている新任の広報・ＰＲマネージャー、これからマネージャーを志す方、そして広報・ＰＲに対するより高度で専門的な内容の習得をめざす方で、専門性の高い内容を系統的に習得することが可能です。

講師には、大学院、大学で経営学やコミュニケーションを担当する教授、広報・ＰＲ実務に豊富な経験を持つ専門家、そして企業の現場第一線で活躍する広報・ＰＲマネージャーを起用、12 回にわたってそれぞれのテーマについて指導を行います（次ページの表参照）。なかでも科目 1 から科目 4 の講座はそれぞれ 2 週にわたり構成されており、バランスよく組み合わされた講義と実習を通じて専門的な内容についてより理解を深めることができます。

本年で 3 回目を迎える「マネジメントコース」は、2009 年における広報ＰＲアカデミーの開設と同時に開講された、わが国で唯一の広報・ＰＲマネージャーの養成講座です。一昨年、昨年と 30 代を中心とした多くの受講者が本コースを修了しており、習得した成果を生かして企業広報やＰＲ事業の第一線で活躍しています。広報・ＰＲマネージャーの登竜門として、今年も多くの広報・ＰＲパーソンの受講が見込まれています。

「マネジメントコース」の詳細及び受講申込みについては、下記 URL の協会 Web サイトをご参照ください。

http://www.prsj.or.jp/kyoiku/academy.php

■「マネジメントコース」の講座スケジュール

日　程	講座時間	講座テーマ	講　　師	申込締切	受講料（消費税込）
11 月 2 日（水） 11 月 8 日（火）	19:00 ～ 21:00 （11 月 2 日のみ 18:30 に開始）	広報・PRマネージャ―の役割と心構え①②（講義と演習）	株式会社野村総合研究所 総務部長（前広報部長） 柴山慎一　氏	全 8 科目受講（12 日間一括）: 10 月 28 日（金） 1科目受講: それぞれ開講日前週の金曜日まで	[会員料金] ●全 8 科目（12 日一括）94,500 円 ●1科目 [講座1～4] 各 18,900 円 [講座 5～8] 各 9,450 円 （法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみ） [一般料金] ●全 8 科目（12 日一括）141,750 円 ●1 科目 [講座1～4] 各 28,350 円 [講座 5～8] 各 14,175 円
11 月 16 日（水） 11 月 24 日（木）		広報・PR戦略マネジメント①②--経営戦略と連動した広報戦略の企画・立案、広報調査と効果測定--（講義と演習）	富士ソフト株式会社 企画部 ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ室長 井上喜久栄　氏		
12 月 7 日（水） 12 月 14 日（水）		広報・PRマネージャーのためのリスク・マネジメント①②（講義と演習）	田中危機管理広報事務所 代表取締役社長 田中正博　氏		
1 月 25 日（水） 2 月 1 日（水）		広報・PRマネージャーのためのマーケティングとブランドのマネジメント①②（講義と演習）	中央大学大学院 戦略経営研究科 教授　田中　洋　氏		
2 月 8 日（水）		CSR活動と連携した広報・PRマネジメント（講義）	帝人株式会社 広報IR室長 宇佐美吉人　氏		
2 月 22 日（水）		広報・PRマネージャーのためのIRマネジメント（講義）	東レ株式会社 IR室長 神山健次郎　氏		
3 月 7 日（水）		広報・PRマネージャーのためのグローバル広報マネジメント（講義）	筑波学院大学 経営情報学部 教授　大島慎子　氏		
3 月 22 日（水）		広報・PRマネージャーのための Web とソーシャルメディア活用マネジメント（講義）	クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役 雨宮和弘　氏		

今後の「広報PRアカデミー」開講予定

日本PR協会では、「スキルアップコース」、「マネジメントコース」に続いて、以下講座の開講を予定しております。

■「PRプランナー3次試験対応講座」　2011 年 12 月 6 日（火）～2012 年 1 月 17 日（火）　全 6 回

2012 年 1 月下旬実施予定の「第 9 回PRプランナー3 次試験」の合格をめざす試験対策講座。
ニュースリリースの作成と広報・PR計画の立案について、講義と実習を通じて習得できる。
10 月下旬より受講受付を開始予定。

■「PRプランナー1次試験対応講座」　2012 年 1 月 31 日（火）～2 月 28 日（火）　全 5 回

2012 年 3 月上旬実施予定の「第 10 回PRプランナー1 次試験」の合格をめざす試験対策講座。
幅広い内容から重要なポイントを「PRプランナー」を取得した講師がわかりやすく指導。
12 月上旬より受講受付を開始予定。

詳細について決まり次第、協会 Web サイト「広報PRアカデミー」のページでご案内します。

（事務局・真部）

『広報・マスコミハンドブック（PR手帳）2012』を刊行

出　版　委　員　会

「ＰＲ手帳」の刊行は協会設立以来継続されており、今回で 32 回目を迎えます。現在、発行に向けた編集・印刷作業を鋭意進めております。

この「ＰＲ手帳」は、歴史ある刊行物で、ＰＲ・マスメディア情報を満載したデータ集であることから、広報・ＰＲ関連業務担当者やビジネスマンなどに、“情報源バイブル”として幅広く活用されています。

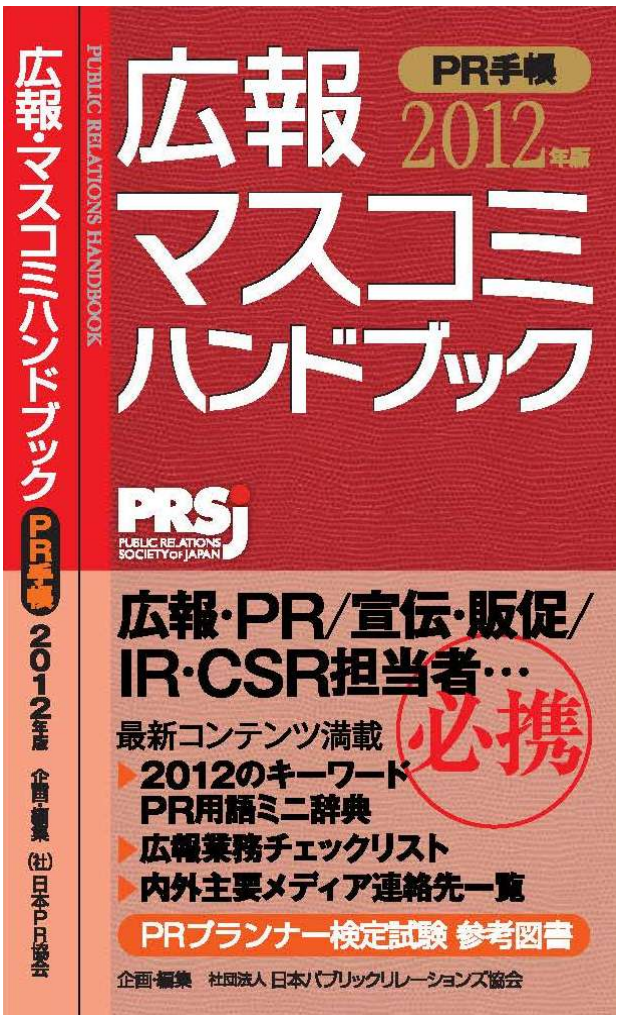
当初「ＰＲ手帳」の販売は、都心の大手書店数店舗・協会事務局でのみ取り扱っておりました。しかし、首都圏・大阪・名古屋をはじめ、福岡・札幌等、主要都市からの購入希望が多く、近年では、全国主要書店で広く販売しております。

主な掲載データは次のとおりです。

新聞社／雑誌社／テレビ局／ラジオ局／海外メディア／業界専門紙誌／フリーペーパー・フリーマガジン／記者クラブ／官公庁／各種団体／イベント会場／企業の文化施設／記念日カレンダー／ＰＲ・ＩＲ用語辞典／ＰＲ関連団体／誰にでもわかる「パブリックリレーションズとは」／当協会の活動など

最新版では、上記のデータに加え、「今」を読み解くキーワードの解説や、ファクトデータ集、実務に役立つチェックリストなどを盛り込み、より現場で使える手帳へと改訂を行いました。

価格は 1,800 円（税込み／会員は 1,000 円）で、11 月下旬に書店店頭に並ぶ予定ですが、会員の皆様には一足早い 11 月中旬に送付させていただきます。



表紙カバーデザイン（予定）

また、事務局では、随時注文を承っております。皆さまのご利用をお待ち申し上げております。

なお、協賛広告のご出稿をいただきました会員会社各位には、この場をお借りして御礼申し上げます。

（事務局・縮）

2011 年度「PRアワードグランプリ」エントリー募集中！ 10 月 31 日が締め切り（必着）です！

顕　彰　委　員　会

9 月 1 日付で 2011 年度「ＰＲアワードグランプリ」のエントリーのお願いをしておりますが、締め切りは 10 月 31 日（月）（必着）です。
今年度も多数のエントリーをお待ちしております。

なお、今年度は最終審査会の模様（プレゼンテーションも含めて）は Ustream でライブ配信いたします。

■「ＰＲアワードグランプリ」募集概要

・応募作品：（社）日本パブリックリレーションズ協会の会員社ならびに非会員の企業・団体が実施あるいは参加したコミュニケーション活動
・応募部門：
　■コーポレート・コミュニケーション部門
　■マーケティング・コミュニケーション部門
　■ソーシャル・コミュニケーション部門
　■イノベーション部門
・エントリー条件
　・会　員：無料
　・非会員：21,000 円／1 作品（消費税含む／振込手数料別途）
・審査方法
　＜部門審査＞
　各部門ごとにあらかじめ選定された部門審査員が一堂に会し、対象となる作品をエントリーシートをもとに審査・協議のうえ、上位 3 作品を選出する。
　＜最終審査＞
　■最終審査会・発表：平成 23 年 12 月 5 日（月）
　最終審査会では、部門審査を通過した作品について各エントリー企業・団体からのプレゼンテーションを行う（1 社 10 分）。審査会終了後、表彰式も行う。

・表彰
　「ＰＲアワードグランプリ」　1 作品（表彰盾と副賞 10 万円を授与）
　「ＰＲアワード　最優秀部門賞」　4 作品（各部門 1 作品／表彰盾と副賞 5 万円を授与）
　「ＰＲアワード　優秀賞」　7 作品（各部門 2 作品以内／表彰状を授与）

詳細はホームページをご参照ください。

http://www.prsj.or.jp/shiraberu/award/entry_award

（事務局・縮）

広報ＰＲアカデミー2011 特別セミナー

広報担当者のためのソーシャル・メディア実践講座（第４回）を９月６日に実施
当日参加者は 130 名＋WEB視聴者

教育委員会・ＩＴ委員会・組織委員会

９月６日、4 回目となる同時生中継セミナー「広報ＰＲアカデミー特別講座 広報担当者のためのソーシャル・メディア実践講座（第４回）」は、アカデミーヒルズ 49Ｆで 19 時より開催され、当日の会場には、130 名の受講者が参加されました。

今日、マスメディアのなかで積極的にソーシャル・メディアを活用しようとする動きがみられます。マスメディアにおいても、ソーシャル・メディアは視聴者や読者との新しい関係性構築に寄与していますし、紙面や番組づくりにも様々な影響を与えています。

一方で、即時性や双方向性という特性を活かして、既存のメディアとは全く異なった手法で情報を発信し、視聴者や読者の支持を得ているソーシャル・メディアも登場してまいりました。広報・ＰＲの領域でも、ソーシャル・メディアの活用が大きなテーマとなっています。

そこで、9 月 6 日に開催された今回は「マスメディアのなかのソーシャル・メディア」と題して、マスメディアと広報という２つの側面から、ソーシャル・メディアを考える講座で実施いたしました。

2 月 14 日の初回講座では、企業・団体の広報・ＰＲにおけるソーシャル・メディアの活用に関する課題と展望について検討を行い、第２（3 月）～3 回（6 月）の講座では、広報・ＰＲの現場で、各ソーシャル・メディアをどのように活用していくのかを、「twitter 活用法」、「facebook 活用法」に分け、実践的に論じてまいりました。

今回の講師には、パネリストとして、笹原 達也氏（日本放送協会 編成局デジタルサービス部ＮＨＫオンライン編集長）、乗峯 滋人氏（毎日新聞社 デジタルメディア局ディレクター 毎日ｊｐ編集長）、山本 由樹氏（光文社『美ＳＴ』編集長）、杉本 誠司氏（㈱ニワンゴ 代表取締役社長）、コーディネーターとして鶴野 充茂氏（ビーンスター㈱ 代表取締役、(社)日本パブリックリレーションズ協会 理事）を迎え、前半の第１部では、「マスメディアのソーシャル・メディア活用」と題し、各パネリストのご紹介からはじまり、各社のマスメディアにおけるソーシャル・メディア活用の潮流からマスメディアとソーシャル・メディアの連携などの活用歴等をお話しいただきました。後半の第２部では、「メディアから見た、これからの広報・ＰＲ活動のあり方」と題し、メディアが望む情報（情報の信頼性と提供方法）からこれからのメディアリレーションズの在り方まで、現場ご担当者レベルの業務についてお話いただきました。

また、今回の講座でも、講座中の質問・感想を「セミナー／イベント」サイトにある日本ＰＲ協会のオリジナル Twitter で受付し、左側スクリーンでツイートをリアルタイムに表示し、パネリストの事例紹介を右画面のスクリーンで表示。その様子は Ustream を介し、同サイトのトップ画面でＷＥＢ生中継いたしました。

その結果、来場者最大で 60 名の方がＷＥＢ視聴をされ、Twitter には多くの書き込みがございました。

なお、この「広報担当者のためのソーシャル・メディア実践講座」は、第 1 回（2 月 14 日）、第 2 回（3 月 3 日）、第 3 回（6 月 3 日）と、今回の第 4 回を含め、過去のアーカイブとしてご参照いただくことができます。

※第 1 回～第 4 回のこれまでのご視聴は、当協会「セミナー／イベント」の中の「動画配信アーカイブ」よりご視聴ください。（http://event.prsj.or.jp/archive）

第９回ＰＲプランナー資格検定試験

１次試験を８月28日、東京・大阪・札幌で実施 371名の受験者が挑戦！

資格制度委員会

８月28日（日）（東京会場：東京海洋大学品川キャンパス、大阪会場：関西大学天六キャンパス、札幌会場：北海道建設会館）で行われた第９回ＰＲプランナー資格認定検定試験 １次試験には、403名の受験申込があり、そのうち371名（出席率92.1%）が受験されました。

従来、「ＰＲプランナー資格検定試験」は東京と大阪の2地区のみで実施しており、他都市では札幌が初めてとなりました。札幌会場の受験申込者は、11名と少ない人数でしたが、当日は、一人の欠席もなく受験されました。

また、前回に引き続き全体の受験者に対しての学生の割合は過去最大となり受験申込者は100名を超え、当日も3会場合わせて100名の学生が受験されました。

札幌会場：北海道建設会館

ご協力いただきました大学関係者の皆様、大変ありがとうございました。また、ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。

なお、今回の１次試験合格者プロフィールは次ページの通りです。

＜1 次試験受験合格者　所属別プロフィール＞

		PR業/PR関連業	一般企業（広報PR関連）	一般企業（その他）	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	39 名	46 名	28 名	2 名	5 名	11 名	43 名	9 名	183 名
	合格者	34 名	36 名	23 名	2 名	5 名	10 名	27 名	4 名	141 名
女性	受験者	28 名	57 名	15 名	3 名	9 名	3 名	57 名	16 名	188 名
	合格者	23 名	40 名	11 名	2 名	7 名	3 名	30 名	12 名	128 名
全体	受験者	67 名	103 名	43 名	5 名	14 名	14 名	100 名	25 名	371 名
	（全体比）	（18.1%）	（27.8%）	（11.6%）	（1.3%）	（3.8%）	（3.8%）	（27.0%）	（6.7%）	（100.0%）
	合格者	57 名	76 名	34 名	4 名	12 名	13 名	57 名	16 名	269 名
	（全体比）	（21.2%）	（28.3%）	（12.6%）	（1.5%）	（4.5%）	（4.8%）	（21.2%）	（5.9%）	（100.0%）
	合格率	**85.1%**	**73.8%**	**79.1%**	**80.0%**	**85.7%**	**92.9%**	**57.0%**	**64.0%**	**72.5%**

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	80 名	60 名	43 名	183 名
	合格者	60 名	49 名	32 名	141 名
女性	受験者	98 名	65 名	25 名	188 名
	合格者	61 名	49 名	18 名	128 名
全体	受験者	178 名	125 名	68 名	371 名
	（全体比）	（48.0%）	（33.7%）	（18.3%）	（100.0%）
	合格者	121 名	98 名	50 名	269 名
	（全体比）	（45.0%）	（36.4%）	（18.6%）	（100.0%）
	合格率	**68.0%**	**78.4%**	**73.5%**	**72.5%**

受験者	合格者	合格率
371 名	269 名	**72.5%**

＜1次試験　年代別合格率　※第1回～第9回累計＞

		PR業/PR関連業	一般企業（広報PR関連）	一般企業（その他）	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男性	受験者	540 名	612 名	220 名	20 名	33 名	47 名	294 名	158 名	1924 名
	合格者	476 名	552 名	180 名	18 名	32 名	43 名	180 名	122 名	1603 名
女性	受験者	462 名	691 名	181 名	20 名	24 名	29 名	365 名	154 名	1926 名
	合格者	377 名	593 名	145 名	17 名	18 名	27 名	201 名	112 名	1490 名
全体	受験者	1002 名	1303 名	401 名	40 名	57 名	76 名	659 名	312 名	3850 名
	（全体比）	（26.0%）	（33.8%）	（10.4%）	（1.0%）	（1.5%）	（2.0%）	（17.1%）	（8.1%）	（100.0%）
	合格者	853 名	1145 名	325 名	35 名	50 名	70 名	381 名	234 名	3093 名
	（全体比）	（27.6%）	（37.0%）	（10.5%）	（1.1%）	（1.6%）	（2.3%）	（12.3%）	（7.6%）	（100.0%）
	合格率	**85.1%**	**87.9%**	**81.0%**	**87.5%**	**87.7%**	**92.1%**	**57.8%**	**75.0%**	**80.3%**

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	759 名	701 名	464 名	1924 名
	合格者	566 名	622 名	415 名	1603 名
女性	受験者	1035 名	667 名	224 名	1926 名
	合格者	713 名	584 名	193 名	1490 名
全体	受験者	1794 名	1368 名	688 名	3850 名
	（全体比）	（46.6%）	（35.5%）	（17.9%）	（100.0%）
	合格者	1279 名	1206 名	608 名	3093 名
	（全体比）	（41.4%）	（39.0%）	（19.7%）	（100.0%）
	合格率	**71.3%**	**88.2%**	**88.4%**	**80.3%**

受験者	合格者	合格率
3850 名	3093 名	**80.3%**

（事務局・宮松）

ＡＤＫ「ポスト震災ライフ」レポートを発表
＝ ポスト震災の生活意識・購買動向調査」結果 ＝
～震災によって「人生観が変わった」人が過半数。女性と男性に大きな差。生活の意味深く考えた消費意識の芽生え～

㈱アサツーディ・ケイ（本社：東京都中央区、取締役社長：清水與二氏、以下ＡＤＫ）では、東日本震災後の生活意識と商品・サービスの利用動向について、本年7月に全国の成人男女3,500人を対象に調査を実施しました。このたび、その調査結果速報がまとまりましたのでご案内致します。

ＡＤＫでは、東日本大震災後、いち早く「Ｅ-ＣＳＲ（イー・シーエスアール）プロジェクト」を立ち上げ、生活者に与えた震災のインパクトがどのように変化したかを数回の連続調査で明らかにしてきました。その一環で、5月中旬に「ポスト震災ライフプロジェクト」を立ち上げ、震災後の生活意識、並びに商品・サービスの購買意識・態度の変化を探索する調査を実施しました。本レポートはその調査結果のサマリーです。

この調査によって、震災によって受けた精神的ダメージの度合い・回復度や、震災後の生活意識が男女・年齢で大きく異なることが分かりました。また、商品の購入やサービスの利用を考える際の意識・態度は、「（震災によって）人生観が変わった」という意識を持つ人とそうでない人で差が大きく、消費における新しい意識の芽生えも汲み取れました。

以下、調査概要およびデータをご紹介いたします。

＜調査結果トピックス＞

◇ 震災により精神的ダメージを受けたのは男性（42%）より女性（61%）。しかし女性は受けたダメージの回復度も高く、立ち直りが早かった。

◇ 震災後は「より前向きに、今を大事に」した生き方を標榜する人が増えたが、女性が男性を大きく上回った。

◇ 震災によって「人生観が変わった」という人は52%に上り、女性（59%）が男性（45%）を上回った。

◇ 震災によって「人生観が変わった」人は、震災後の暮らし方意識がより前向きになった。

◇ 震災によって「人生観が変わった」人は、商品の購入に「正しさ」「厳しさ」を反映し、買物行動も用意周到になるなど、新しい消費行動の芽生えが見える。

◇ 震災によって「人生観が変わった」人ほど、「商品機能の違いを比較して購入」するようになり、趣味・レジャーについては「人生観が変わらない」人より「必要度」が高くなっている。

＜この調査の詳細等に関するお問い合わせ先＞

㈱アサツーディ・ケイ　広報室　　TEL： 03-3547-2003

※詳しい内容は「ＡＤＫニュースリリース」（ポスト震災レポート）を下記よりご覧ください。

http://www.prsj.or.jp/wp-content/uploads/2011/09/AdkNewsRelease.pdf

（事務局・森戸）

ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング
2011 年 8 月度

㈱エレクトロニック・ライブラリーは、2011 年 8 月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、8 月に発行された新聞 96 紙・雑誌約 100 誌のうち、「ＥＬＮＥＴ」に登録されているキーワード約 263 万語のヒット数の増減を数値化した「ＥＬトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のＴＯＰ10 は以下の通りです。

■ 2011 年 8 月度　ＥＬ一般キーワード ＴＯＰ１０

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	12.89	東日本大震災	6位	4.51	なでしこジャパン
2位	8.53	原発事故	7位	4.38	稲わら
3位	7.56	放射性セシウム	8位	4.29	除染
4位	6.01	避難者	9位	4.11	節電
5位	5.48	原発事故担当相	10位	4.11	肉牛

■ 2011 年 8 月度　ＥＬ企業キーワード ＴＯＰ１０

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	3.66	安愚楽牧場	6位	2.05	北海道電力
2位	2.92	天竜浜名湖鉄道	7位	1.97	ムーディーズ・インベスターズ・サービス
3位	2.33	東海テレビ放送	8位	1.95	スタンダードアンドプアーズ
4位	2.23	東京電力	9位	1.80	九州電力
5位	2.18	アサヒグループホールディングス	10位	1.69	関西電力

※詳細はＥＬＮＥＴホームページをご参照下さい。
一般キーワード http://www.elnet.co.jp/el/keyword/trnd1105/gk20.html
企業キーワード http://www.elnet.co.jp/el/keyword/trnd1105/or10.html

※なお、2011 年 6 月より、ＥＬＮＥＴホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、「ＥＬウィークリートレンド」として毎週水曜日に発表しています。
詳細は以下ご参照ください。
http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html

（事務局・縮）

＜コラム　関西の風＞

お国自慢こそ、その街の広報大使！

ネスレ日本㈱ コミュニケーションズ＆コーポレートアフェアーズ本部
媒体・広報統括部 広報室長 嘉納 未來

来る 11 月 12 日・13 日、兵庫県姫路市で「第 6 回Ｂ級ご当地グルメの祭典！B-1 グランプリ in 姫路」が開かれる。全国のＢ級グルメが集まってくるとあって、前回は 40 万人もの来場者が訪れたというが、私も楽しみにしている一人。様々なＢ級グルメを楽しみたいと同時に、ぜひ地元の兵庫県が上位入賞して、全国にＰＲできればと願っている。

人気テレビ番組や、学校や会社などにおいて公式・非公式に関わらず「○○県人会」があるように、日本人は出身地という共通点を楽しんだり、それぞれの地域の文化の違いを楽しんだりするのが好きだ。中でも、食文化はより身近で、話題にもしやすく、とても盛り上がる。また、その土地の名物を楽しむことは旅の醍醐味の一つでもある。

今年は春から夏にかけて、神戸に東京の友人・知人が訪ねてくる機会が何度もあった。どこを案内しようか？　何を食べてもらおうか？　特に東京は世界中から様々なモノが集まっているし、もちろん東京に進出している神戸のお店も多い。神戸生まれ、神戸育ちの私だが、意外に行ったことがない神戸の観光地。あらためて神戸の魅力を知らない自分を情けなく思い、いろいろ調べた。神戸牛、洋菓子やパン…… 色々あるが、物理的に神戸でしか出会えないものとして「昼網（明石で午前中に水揚げされて、昼ごろに市場にならぶ海の幸）」が喜ばれると聞き、昼網の海の幸を提供するお店での夕食、明石の魚の棚の散策を計画。また兵庫県産の山や海の幸を提供する私のお気に入りのお店での食事。私の好きなＪＲ神戸線から見る六甲の山並みや、須磨の海、そして明石海峡大橋なども、旅の道中に見せた。淡路島にも渡ってグルメな淡路を堪能してもらった…… と私もまだまだではあるが、たっぷりと神戸のお国自慢をした。

皆それぞれが生まれた街、育った街、住んだ街の広報大使。旅先だけではなく、毎日の会話の中で、そんなことを感じる。「私の街ではこうだよ。」「僕の街ではああだよ。」と。

私自身、「神戸」そして「兵庫県」の広報大使になるべく、もっともっと地元の魅力を知りたいと思う。もっともっと地元を旅しようと思う。

ちなみに、弊社では「The 県人こみゅ」（http://k.nestle.jp/tellask/）というコミュニティサイトを運営している。同じ街に住む人同士、または過去に住んでいた人が懐かしんで、もしくはその街に旅に行く人が情報を求めて、それぞれの都道府県のコミュニティでコミュニケーションを図っている。ご興味があればぜひ覗いてみてください。

『ポスト３．１１のマーケティング』　企業は、消費者はどう変わるか？

デジタル コンサルティング パートナーズ：著　朝日新聞出版：刊　（2010 年 7 月）ｐ207
価格 1,400 円＋税

9.11 でアメリカのビジネスは激変した。日本のマーケティングはどう変わるのか。当書では、デジタルメディアに知見を持つ第 1 線のマーケター8 人が、ポスト震災のビジネス再構築を緊急提言している。筆者の一人、横山 隆治氏は、「従来の縦横喚起型のマーケティングがそのまま通用する環境ではなくなっている。（中略）新たなライフスタイル、ワークスタイルが始まるものと考えられ、そこに新しい消費者ニーズが顕在化する可能性がある」（まえがき）という。「脱『日本の再構築』」（岸本 義之氏）、「逆境に打ち勝つマーケティング・イノベーション」（田中義啓氏）など 8 編の提言はいずれも示唆に富んでいる。

『「応援したくなる」企業の時代』
マーケティングが通じなくなった生活者とどうつき合うか（アスキー新書）

博報堂ブランドデザイン：著　アスキー・メディアワークス：刊（2011 年 1 月）ｐ254
価格：743 円＋税

リーマンショックや東日本大震災を経験した今、企業は、従来の延長線上を探るだけでは立ち行かない時代を迎えている。「企業は生活者と対峙する姿勢を改め、ターゲットに売り込むのではなく生活者と共に持続的な『しあわせ』を創造していく姿勢に転じることで生活者から応援される存在となりうる」。 筆者（宮澤正憲氏、博報堂ブランドデザインリーダー）は、次世代の企業像をこのように描き出し、その前提として現在、企業に起こりはじめている変化や従来型発想の限界などを解かりやすく説明している。

『伸び続ける会社のノリの法則』（日経プレミアシリーズ）

遠藤　功：著　日本経済新聞出版社：刊（2011 年 5 月）ｐ202
価格：850 円＋税

みんなが「縮み志向」に陥り「ノリ欠乏症」に陥っている。「ノリ」とは未来に向かい「波に乗る」ことである。著名な経営コンサルタントである著者は「多くの日本企業は、この「ノリ」の重要性を理解していない」と言う。経営者を始め社員全員が「ノリ」を意図的に生み出し行動することで、沈滞気味の企業も必ず復活する。本書は、その観点から「ノリ」というやる気を起す妙薬のメカニズムを解き明かし、その実践方法を指南している。

（事務局・森戸）

■ 会員便り

日本医学ジャーナリスト協会が半年間に亘る「医療ジャーナリスト講座」の受講者を募集

メディカル業務を多数受託している当協会法人正会員の㈱トークス（代表取締役社長　辻田 邦彦）にＮＰＯ法人日本医学ジャーナリスト協会から「医療ジャーナリスト講座」の案内及び依頼がありましたので、お知らせします。

今回の講座では、毎月1 回開催、新聞・テレビ・雑誌・インターネットなど、それぞれ立場が異なる現役のジャーナリストの方々を講師とし、様々な媒体の医療ジャーナリズムの現状と課題について、講師自身の視点・考え方・活動など現場を踏まえて語っていただき、参加者が現在の医療ジャーナリズムのあり方を考える契機となるようにするとともに、参加者と講師との活発なディスカッションを通じての交流を図る場となることを目指しています。ぜひ奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

講座の概要
開催日： 2011年10月～3月（12月を除く毎月1回）
時　間： 午後6時30分～午後8時（約1時間30分）
場　所： 日本記者クラブ会議室
（社）日本記者クラブ　　東京都千代田区内幸町2-2-1　日本プレスセンタービル9階
受講料： 5回通し一括払いの場合 10,000円　（各回参加の場合 3,000円）
＊ 毎回講座のあとに懇親会を行います（希望者のみ）。参加費は2,000円程度を考えています。

講師及び講座内容 毎月1 回（火曜日） 午後6 時30 分～8 時

第1回（10月25日）　田中 秀一氏　（読売新聞社医療情報部部長）
「読売新聞『医療ルネッサンス』の現場から」
第2回（11月29日）　田辺　功氏　（フリージャーナリスト・元朝日新聞社編集委員）
「新聞が抱える医療報道の現状と課題」
第3回（1月24日）　川口　恭氏　（㈱ロハスメディア代表取締役）
「ロハスメディカルを通じて見る新たな医療ジャーナリズム」
第4回（2月21日）　北澤 京子氏　（日経ＢＰ社編集委員）
「医学専門雑誌における医療ジャーナリズム」
第5回（3月21日）　坂井かをり氏　（ＮＨＫエデュケーショナル 科学健康部）
「テレビ医療報道の現状と課題」

※この講座へのお申込み・お問い合わせは下記までお願いします
特定非営利活動法人（ＮＰＯ）
日本医学ジャーナリスト協会 事務局　担当：古阪(ふるさか)
TEL: 03-5561-2911 www.meja.jp

「NRI未来創発フォーラム 2011 ～つなぐ想い、つくる未来～」を開催
～経済・科学・建築・地域再生の有識者が震災後の日本の未来を切り拓く～
10 月 24 日（月） 東京国際フォーラムで開催

法人正会員の㈱野村総合研究所（以下「ＮＲＩ」）は、社内外の多様な専門家を交えてＮＲＩの企業理念「未来創発」に基づいた提言を行う「ＮＲＩ未来創発フォーラム 2011」を 10 月 24 日に開催します。

ＮＲＩは、新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担うことを企業理念とし、未来社会への提言活動を行うとともに、コンサルティングやシステムソリューションを通じて新しい社会の仕組みづくりを担ってきました。「ＮＲＩ未来創発フォーラム」は、このようなＮＲＩの提言を広く社会に伝え、参加者とともに考える場として、2003 年より毎年開催しています。

●震災後の日本、「つなぐ想い、つくる未来」をテーマに様々な分野の有識者・専門家が登壇

今年のフォーラムは「つなぐ想い、つくる未来」をテーマに掲げました。震災後の日本の現状をしっかりと見据え、直面する困難を乗り越えて希望ある未来を切り拓くために、経済・科学・建築・地域再生など、異なる分野で活躍する有識者と NRI の専門家が講演とパネルディスカッションを行います。

参加は無料です。多くの方々にご参加いただき、日本の未来について考える場として、将来への展望を共有してきたいと考えています。本フォーラムの内容はホームページ等を通じて継続的に発信していく予定です。

●ＮＲＩ未来創発フォーラム 2011 東京　概要　　※敬称略

日　時：2011 年 10 月 24 日（月）13：30～17：00
会　場：東京国際フォーラム　ホールＡ（東京都千代田区丸の内 3-5-1）
定　員：2,500 名　申し込み締め切り：2011 年 10 月 7 日（金）
第一部：講演
「東日本大震災からの復興に向けて」増田 寛也（ＮＲＩ顧問）
「岐路にたつ日本人―覚悟と希望―」谷川 史郎（ＮＲＩ取締役 常務執行役員 未来創発センター長）
第二部：パネルディスカッション「次の世代、未来のために今できること」
モデレータ：池上　彰（ジャーナリスト）
パネリスト：伊東 豊雄（建築家）、玄田 有史（経済学者）、中村 桂子（生命誌研究者）
　　齊藤 義明（ＮＲＩ公共経営戦略コンサルティング部 イノベーション・人材戦略担当部長）

・どなたでもお申し込みできます（参加無料）。
　詳しい内容については、ＮＲＩのホームページをご覧ください。http://www.nri.co.jp

※同フォーラムは 10 月 14 日に名古屋でも開催する予定です（名古屋の申し込みは締切りました。）

※この件に関するお問い合わせは下記までお願いします
㈱野村総合研究所　コーポレートコミュニケーション部　担当：墨屋、海藤、鈴木
TEL：03-6660-8370　E-mail：kouhou@nri.co.jp

PRSJ in Media

● 9 月 7 日（水）『人生が輝く！働き女子の時間＆整理術』

女性を主な対象に働くライフスタイルを提案するムック『人生が輝く！働き女子の時間＆整理術』（学研マーケティング刊）の特集「人生を変える最強の資格」において、実際に役立つ資格として「ＰＲプランナー」がとり上げられました。

本特集で「ＰＲプランナー」は、キャリアアップに役立つ”最強の資格ベスト 30”の 1 つとして扱われており、資格としての特徴や、試験の概要や実施時期などが紹介されています。

● 9 月 14 日（水）　『稼げる資格』2011 年 下半期版

600 以上の資格を紹介しているムック『稼げる資格』2011 年下半期版（リクルート刊）において、「ＰＲプランナー資格認定制度」がとり上げられました。本誌の「ビジネススペシャリストをめざせる資格」のコーナーで、ＰＲプランナー資格の概要や働き方、学び方などが紹介されています。

（事務局・真部）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思いますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会
Ｅメール　mail@prsj.or.jp
ＦＡＸ　03－5413-2147

※　禁転載

2011年度　広報ＰＲアカデミー実施要項

コース	コース・コンセプト	対象者レベル	実務経験年数	講座名	講座コンセプト	時期	期間
入門・基礎コース	広報・ＰＲに関する基本的な知識やスキルを習得させ、上司や先輩の指導のもとに業務を遂行できる基礎的な実務能力を育成する。	ＰＲ会社や広報セクション等に入社、配属された新任もしくは経験の浅い広報・ＰＲ業務の担当者。	０～2年	広報・ＰＲ入門講座	講義や演習、ケーススタディの紹介等の多彩なカリキュラムを通して広報・ＰＲに関する基本的な知識やスキルを総合的に習得する基礎講座。	4月中旬	全日/5日間連続
中級コース	日常的に生ずる広報・ＰＲの課題に、自身の判断で適切かつ効果的な対応を行うことができる、より高度な実務能力を育成する。	上司や先輩の助言なしに日常的な業務を遂行できる能力を有する担当者。	2～5年	メディアリレーションズ集中講座 （旧　広報ＰＲ実務講座）	新聞、雑誌、テレビ、ネット系メディアの第一線で活躍する現場キーマンを講師に招き、それぞれのメディアの特性、方針、業務や体制の実際や記者へのアプローチ法等に関するアドバイスをいただき、多様なメディアへの対応能力の向上をはかる実務講座。	7月	半日/2日間(午後～夜間)
			3年以上	スキルアップ・コース	ニュースリリースの作成、日常的なメディア対応、非常時におけるメディア対応等、現場実務の担当者のメディア対応能力の強化をはかる技能養成講座。	10月	半日/3日間
上級コース	広報・ＰＲの実務を通じて経営者や上司を補佐するとともに、グループをマネジメントして組織的かつ計画的に企業・団体の広報・ＰＲ業務を推進できる能力を育成する。	経営や事業における課題を認識しその解決に向けて自身の判断で広報・ＰＲ業務を遂行できる能力を有する担当者。	5年以上	マネジメントコース	大学教員等の学識者や現役の広報マネージャー、各分野のスペシャリストを講師に招き、講義や演習を通じて広報・ＰＲ業務マネジメントに必要な幅広い知識、スキル、考え方等を体系的に習得する広報・ＰＲマネージャー養成講座。	11～3月	各120分/隔週12回（夜間）
ＰＲプランナー試験対応コース	広報・ＰＲに関する知識やスキルを習得させ、ＰＲプランナー資格認定・検定制度試験を合格できる実力を育成する。	広報・ＰＲ業務に興味を持ち、ＰＲプランナー試験の合格をめざす者。	0年～（学生可）	1次試験対応講座	ＰＲプランナー1次試験合格をめざし、テキストをベースに広報・ＰＲに関する基本的な知識、考え方を習得する講座。	7～8月/1～2月	各150分/週一5日間（夜間）
			3年以上	3次試験対応講座 （旧 広報ジュニア・カレッジ）	ＰＲプランナー3次試験合格をめざし、実務にも役立つニュースリリースの作成法、広報・ＰＲ計画の立案法を高度なレベルで習得する講座。	6～7月/12～1月	各150分/週一6日間（夜間）

※詳細につきましては、順次当協会ホームページ（http://www.prsj.or.jp）で発表いたします。
※カリキュラムは変更する場合があります。ご了承ください。

(社)日本パブリックリレーションズ協会
tel. 03-5413-6760　fax. 03-5413-2147